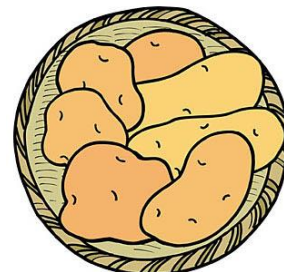


# JA 営農情報

№341 令和6年 2月号

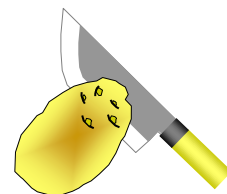
## じゃがいも栽培

平坦部では2月下旬から春じゃがいもの植付が始まります。じゃがいもは寒さに弱く、この時期は朝晩の気温が冷え込むこともあるため極端な早植えは避けるとともに、山間部ではやや深めに植え付けたり植付時期を遅らせたりするなどして調整しましょう。



### ■種いもの準備

小さい種いもであればそのまま植え付けられますが、重さが60g以上の大きいものは、芽の場所に注意しながら1片が30g程度になるように半分に切りましょう。（植付の2～3週間前に芽出しをしておくことで場所が確認しやすくなります。）



切ったあとは風通しの良いところに置いて切断面をしっかりと乾かしてください。

### ■植付

連作障害を避けるためにナス科野菜を3年以上栽培していない場所を選び、堆肥を施用して土づくりを行います。じゃがいもはアルカリ土壌を嫌うため、石灰資材は入れないようにしましょう。

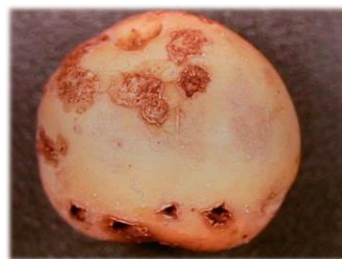
120cm幅の畝を立て、5～6cmの深さに植え付けます。植付後は地温上昇や雑草抑制のために黒マルチの使用がおすすめです。その後、マルチの上から芽が出ているところを触って確認し、穴を開けて芽を外に出しましょう。

本葉が3～4枚の頃に太い芽を2本残して芽かきを行い、マルチをしない場合は併せて土寄せを行ってください。

### ○そうか病について

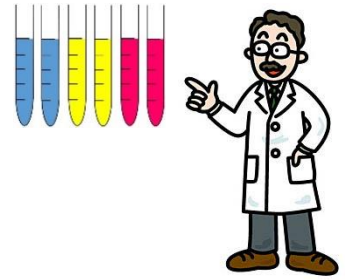
そうか病とは、右画像のようにじゃがいもの表皮にかさぶたのような斑点ができる病気です。

主に土壌pHがアルカリ性に偏ったときに発生しやすくなるため、石灰資材は入れないようにしましょう。また、常発地の場合は栽培場所を変えるか、薬剤を散布して予防に努めてください。



# 土壌分析のご案内

当JAでは組合員を対象に無料で土壌分析を実施しております。  
 次年度新たに作付けをする前に一度分析を行い、土壌中のpHや  
 肥料成分を知ることによって元肥・追肥や土壌改良材の施肥量を調整する  
 目安になるので、この機会にぜひご相談ください。



○分析項目・・・土壌pH、EC（塩類濃度）腐植、リン酸、加里、苦土、石灰、  
 アンモニア態窒素、硝酸態窒素

○所要期間・・・土壌採土から検査結果が出るまで1ヶ月程度

ご依頼、ご質問は営農経済センター（641-9050）へお問い合わせください。

## ☆みしま館 出荷会員募集のご案内☆

当JAが運営する農産物直売所『みしま館』の出荷会員を募集しています。  
 直売所への持込が困難な方については、営農経済センターへ持込いただくかご自宅へ  
 集荷にお伺いすることも可能です。

少量でも構いませんので自分で育てた農産物を出荷してみませんか？

詳細についてはみしま館までお問い合わせください。 \*TEL：645-7100

## 《各種相談日のお知らせ》

	法律相談 隔月第2木曜日	税務相談 隔月第4金曜日	住宅ローン・資産相談 毎月第3土曜日	介護相談 随時受付
2月	—	確定申告相談	17日	介護に関する 無料相談受付 まずはお気軽 にお問い合わせ下 さい。 介護支援センター TEL：627-7767
3月	14日	—	16日	
4月	—	26日	20日	
【実施場所】 農協会館（JA茨木市 本店）3階 小会議室 【受付時間】 午後1時～午後4時 定員は3名ですので、事前にお問合せください。 （無料でご相談いただけます） 心れあい・福祉課 TEL：627-7768			【実施場所】 JA茨木市 各支店	



### ご利用ください

【テレフォンサービス】青果物の市況をお知らせします。 TEL:641-9150

【営農110番】栽培方法等ご相談ください。 TEL:641-9050